

御所ごしよ櫻さくら
梅うめ和わ録ろく

繪師主人著
うし原 玄げん

笈あし
十輯

丙寅春の物語

~ 13
3722
19



御所!

梅うめ

松まつ

録ろく

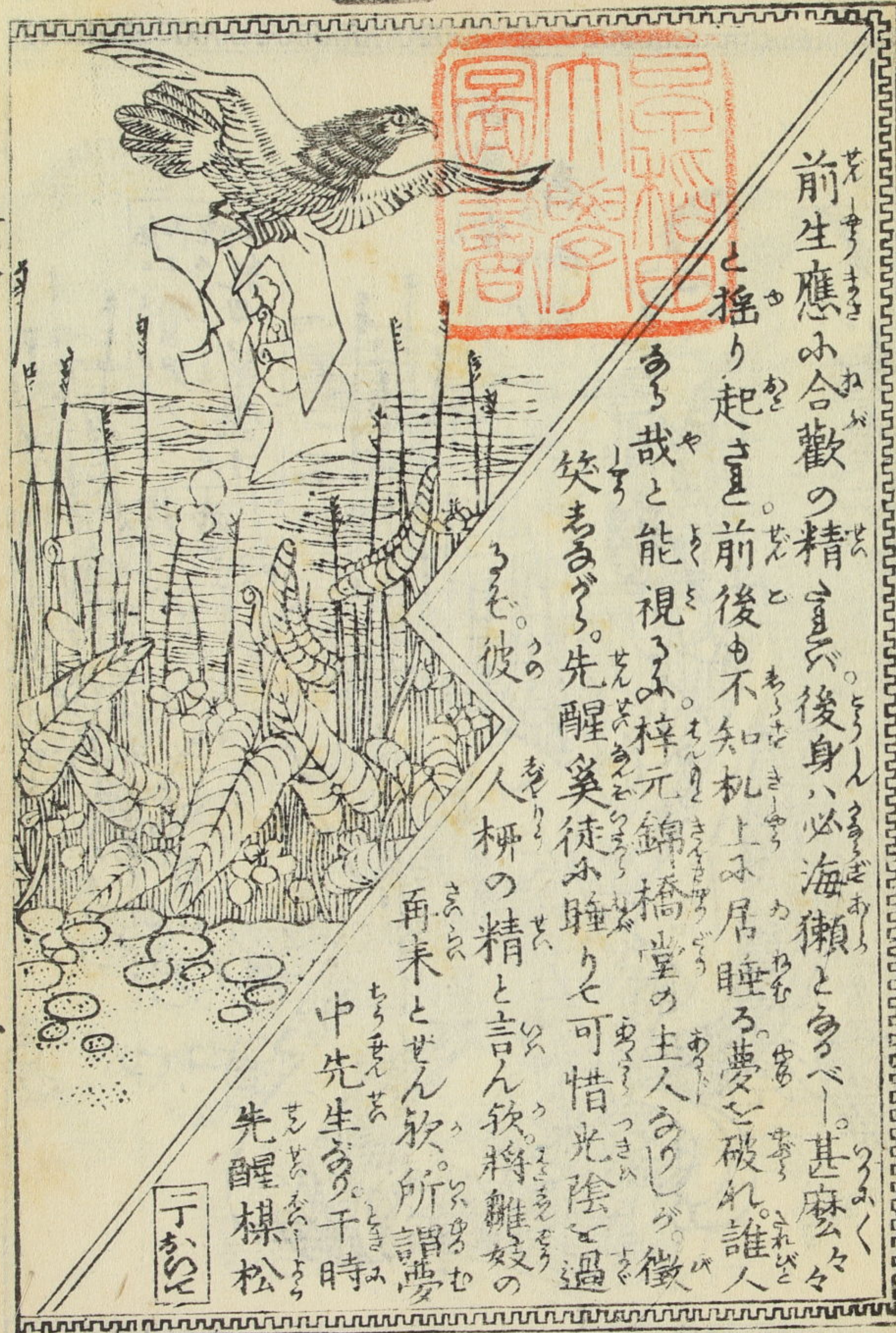
櫻さくら



西黄春切鑄

大綿産様

上之巻



毎公十

前生應ふ合歡の精靈は後身は必海獺と多べ。甚麼々々

と揺り起さる。前後も不知机の上居睡る。夢を破れ誰人

も哉と能視ふ。梓元錦橋堂の主人ありしが。徴

笑あるが。先醒奚徒み睡りと可惜光陰を過

るも。彼人柳の精と言ん。秋將離妓の

再来とせん歎。所謂夢

中先生あり干時

先醒楳松

丁かひ

門へ13
3722
巻19

梅
松
録
所
櫻

美
後
樓
之
人
夢

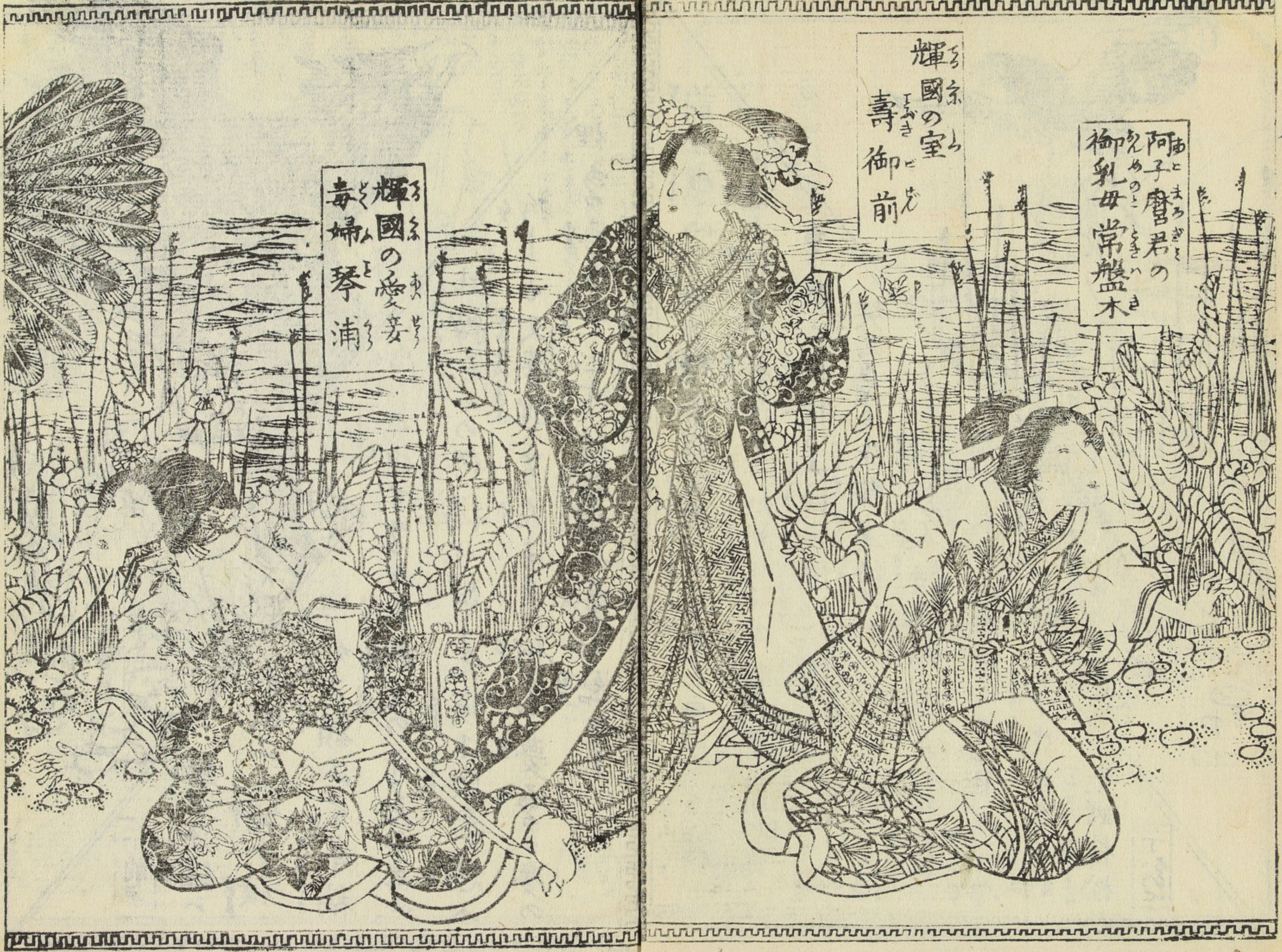
上の巻



阿子磨君の
御乳母常盤木

輝國の室
壽御前

輝國の愛妻
毒婦琴浦



蘇杭の地味は
山陰の地味は
山陽の地味は
山前川の地味は

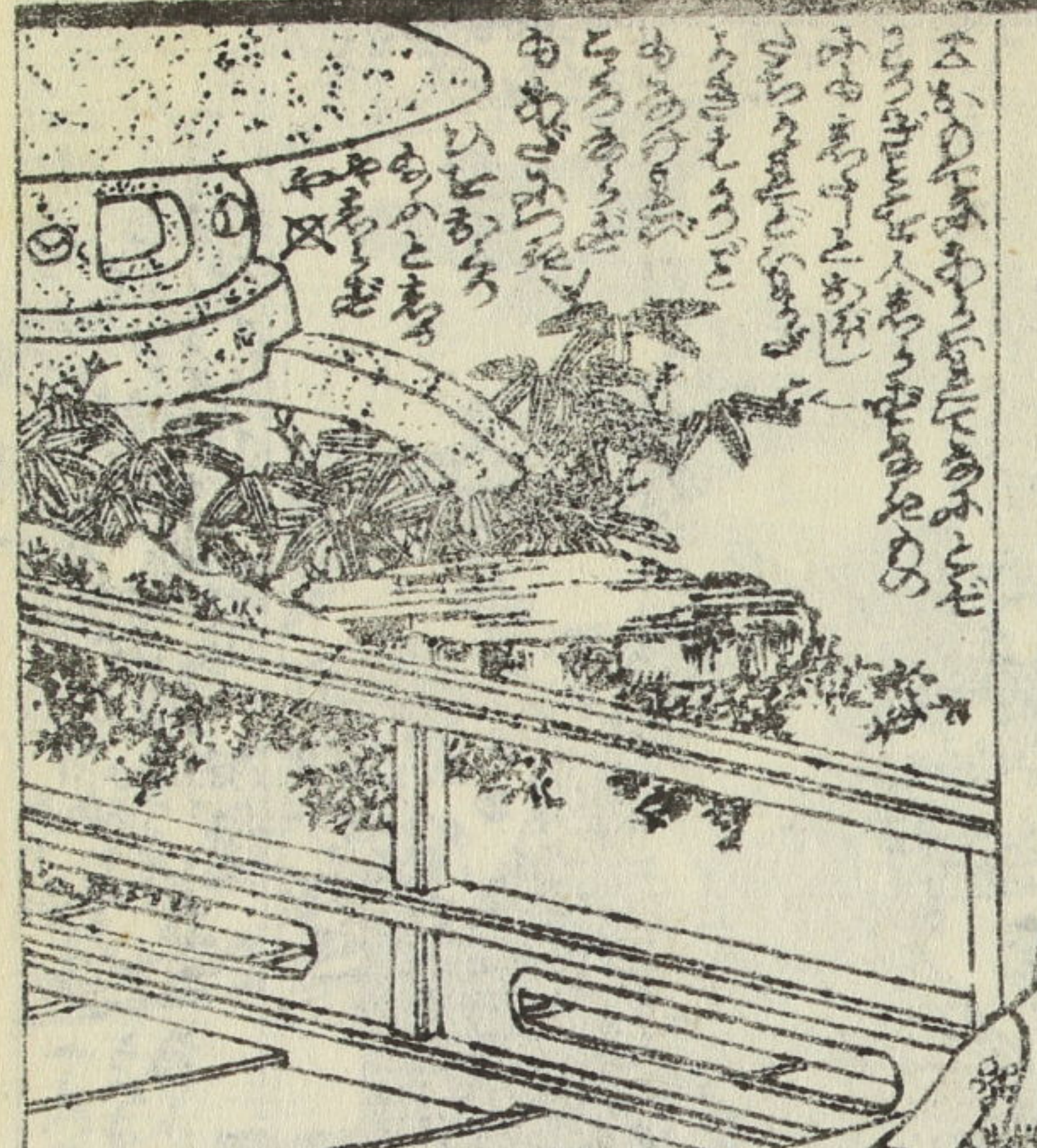


▲まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝの

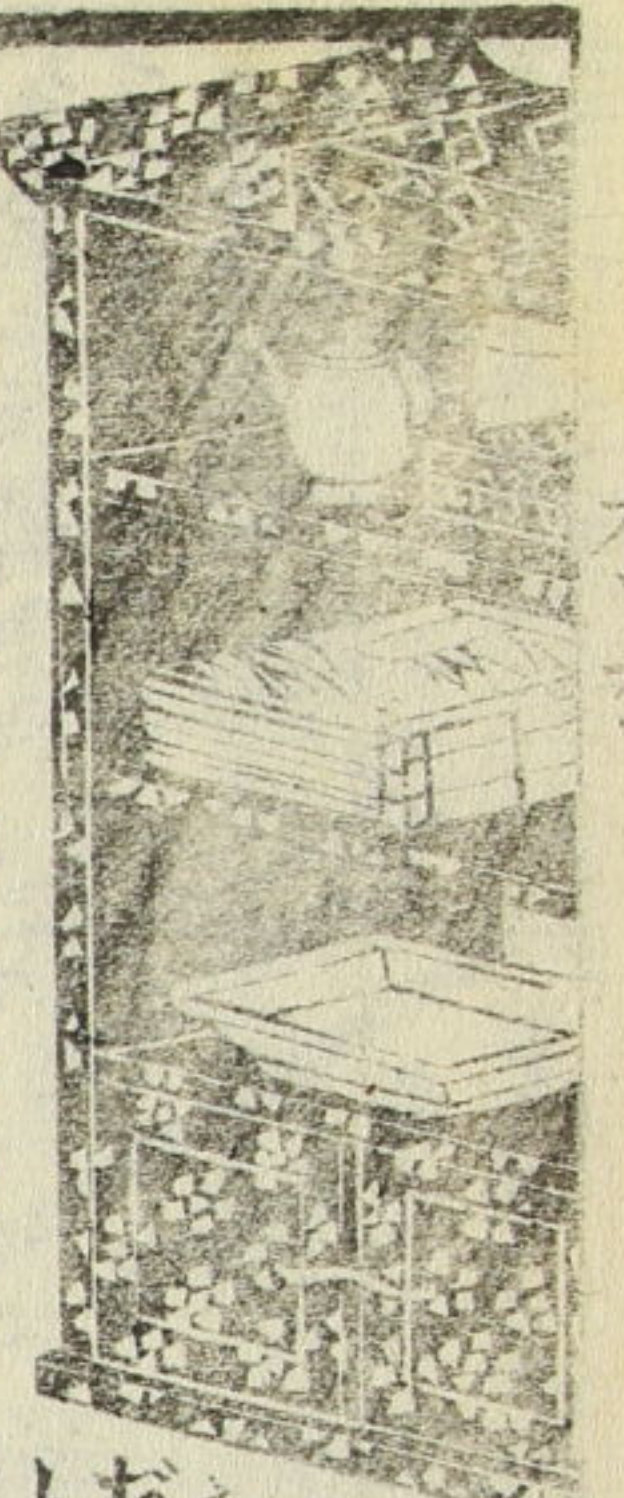
蘇杭の地味は
山陰の地味は
山陽の地味は
山前川の地味は



蘇杭の地味は
山陰の地味は
山陽の地味は
山前川の地味は



蘇杭の地味は
山陰の地味は
山陽の地味は
山前川の地味は



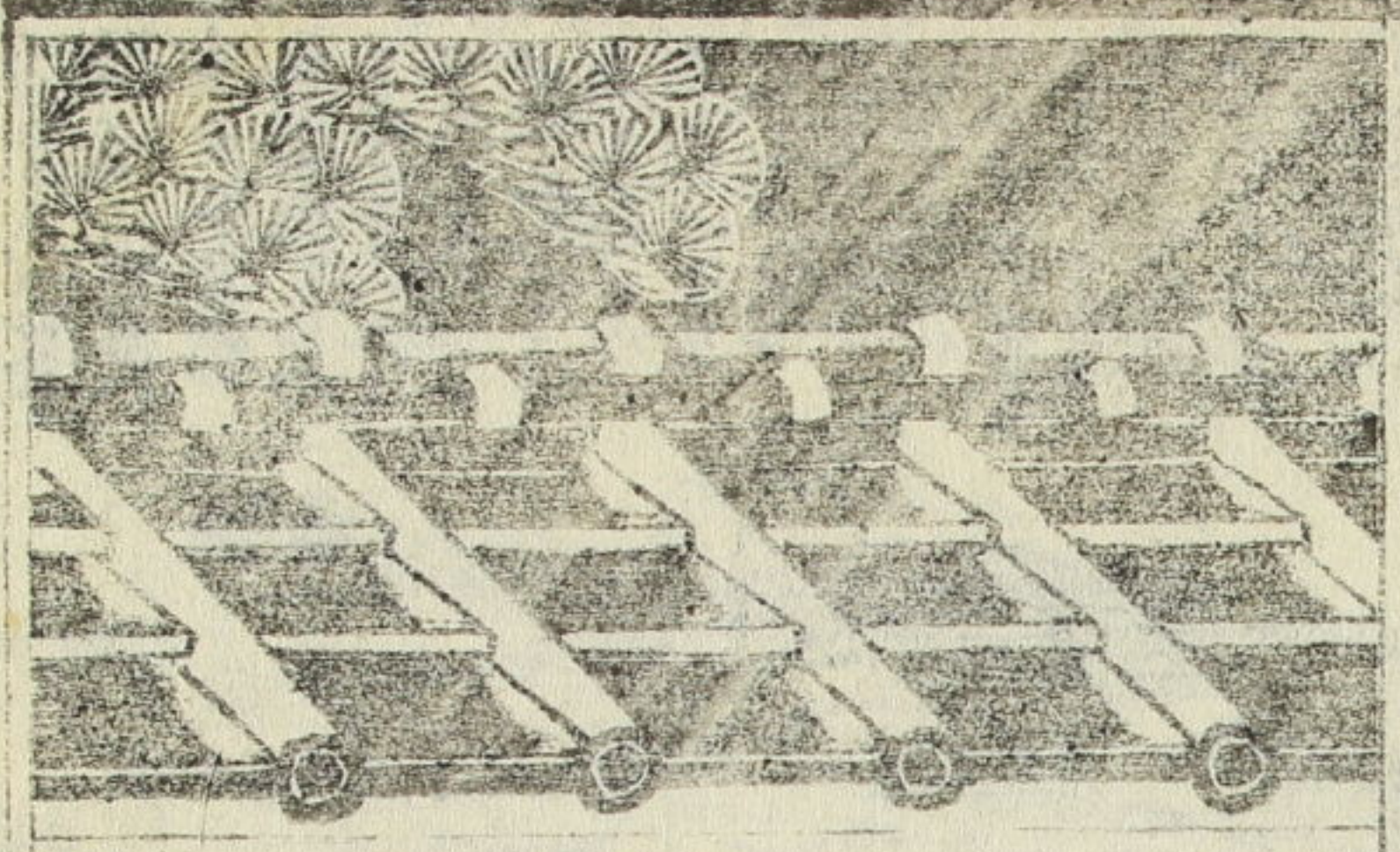
Handwritten text in the top right corner, likely a title or introductory note.

Handwritten text in the middle right section, positioned above the main illustration.



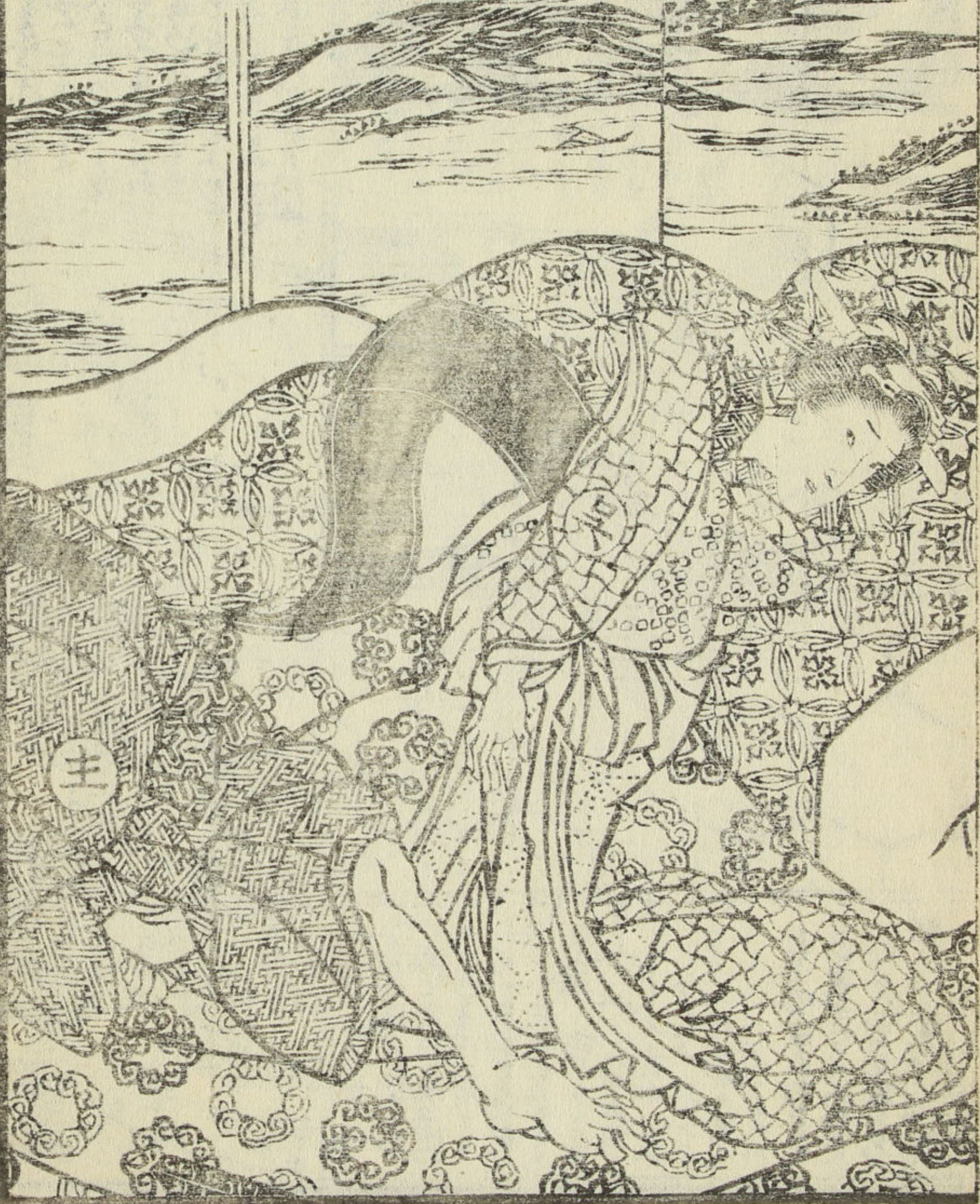
Handwritten text in the bottom right section, positioned below the main illustration.

Handwritten text in the top left section of the right page, positioned above the illustration.

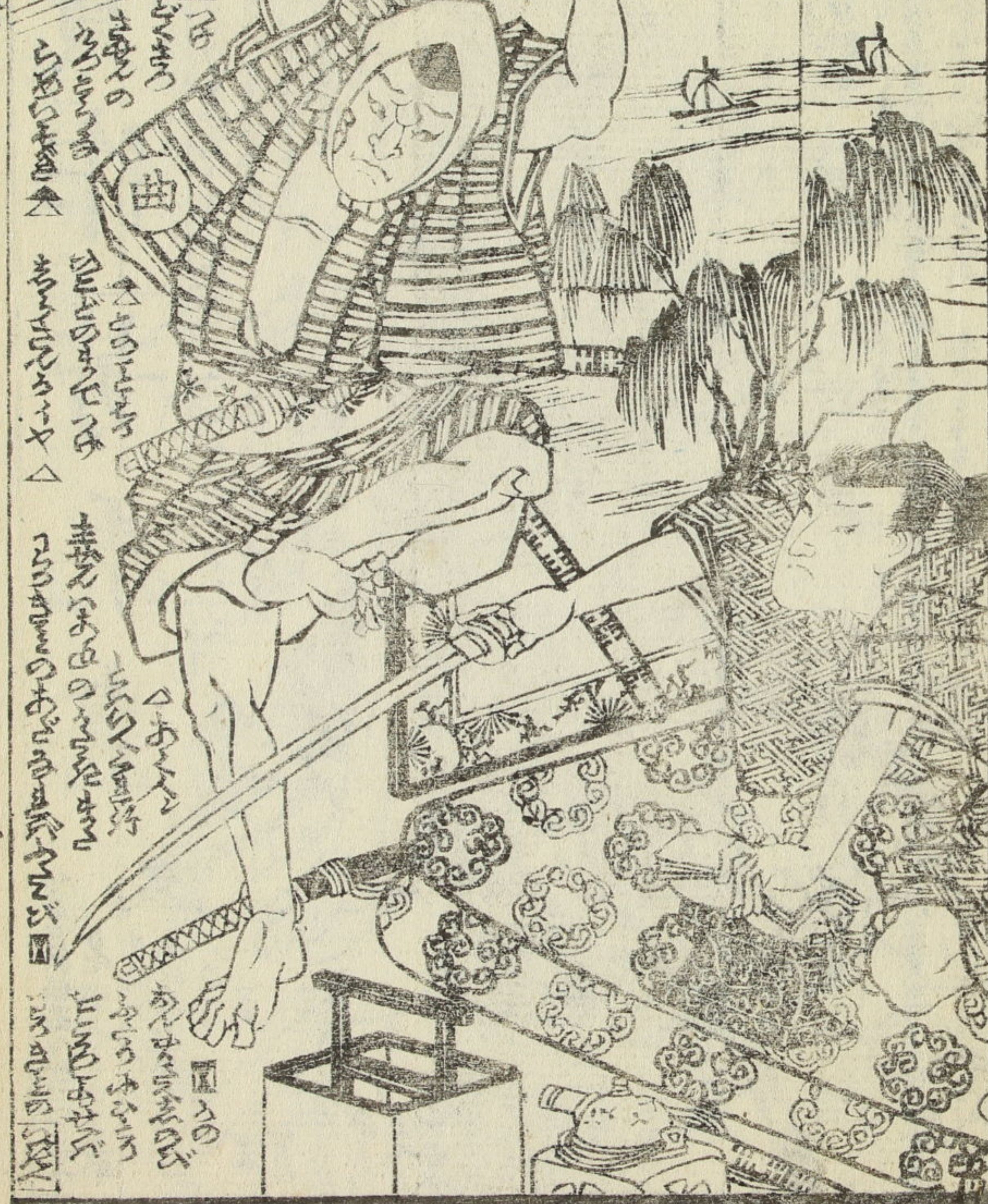


Handwritten text in the bottom left section, positioned below the main illustration.

茶の湯の作法
 主人の作法
 客の作法
 湯の入れ方
 湯の注ぎ方
 湯の飲み方
 湯の残さず
 湯の静か
 湯の熱い
 湯の冷たい
 湯の甘い
 湯の苦い
 湯の酸い
 湯の臭い
 湯の汚い
 湯のきれい

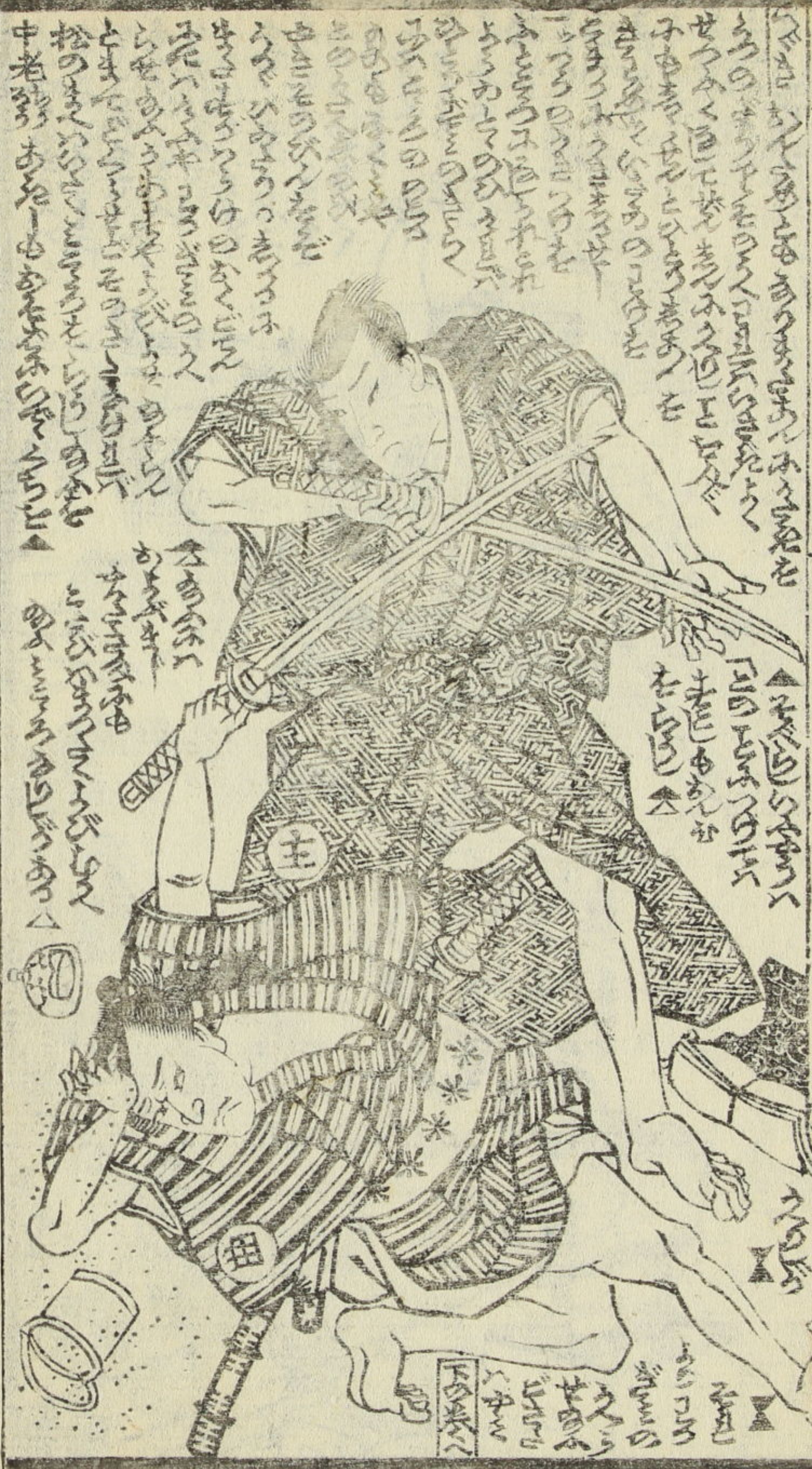


湯の静か
 湯の熱い
 湯の冷たい
 湯の甘い
 湯の苦い
 湯の酸い
 湯の臭い
 湯の汚い
 湯のきれい
 湯の静か
 湯の熱い
 湯の冷たい
 湯の甘い
 湯の苦い
 湯の酸い
 湯の臭い
 湯の汚い
 湯のきれい



湯の静か
 湯の熱い
 湯の冷たい
 湯の甘い
 湯の苦い
 湯の酸い
 湯の臭い
 湯の汚い
 湯のきれい

秀賀作芳虎畫



| | | | | | | | |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 島 | 鮮 | 堂 | 畫 | 帖 | 折 | 本 | 錄 |
| 善惡教訓圖解 | 大日本神社佛閣全 | 東海道五十次全 | 德川年代記事全 | 古今名婦傳全 | 花鏡東京名所全 | 龜地本錦繪問屋 | 島鮮堂 綱島龜吉 |
| 上 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 島 | 綱島龜吉 |
| 下 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 島 | 綱島龜吉 |
| 藤 | 俳優忠臣藏全 | 花鳥かぶり全 | 常盤之園全 | 命養生善惡鏡全 | 開化東京名所全 | 島 | 綱島龜吉 |
| 芳 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 島 | 綱島龜吉 |
| 善惡雅教訓全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 島 | 綱島龜吉 |

